

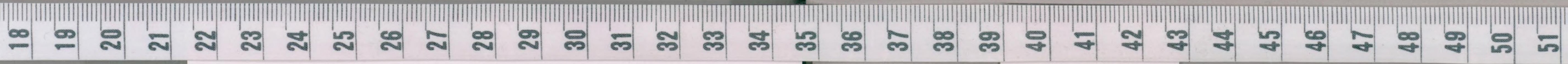
役者寶舟

京上
袞

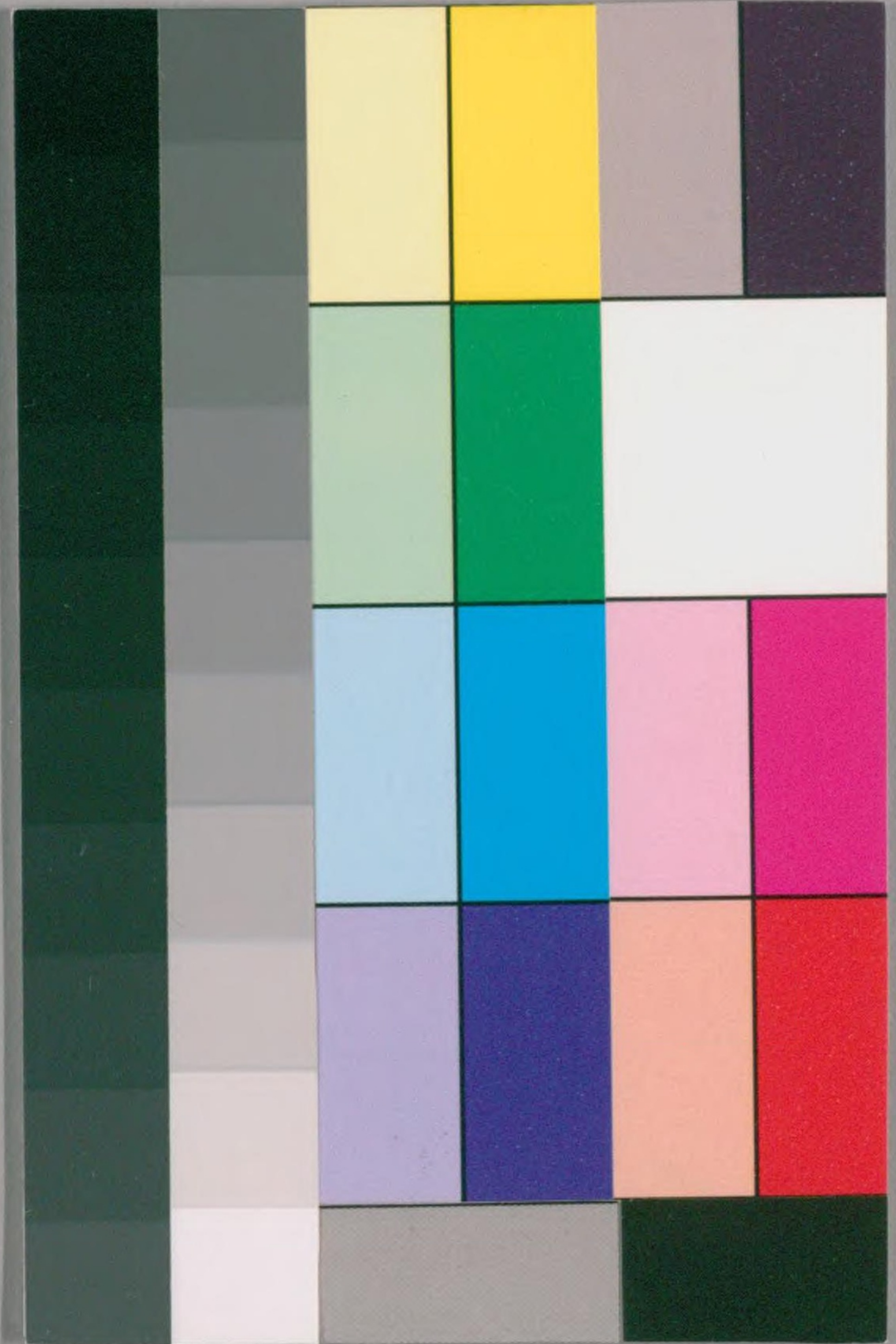
856
43

享和二年
正月
五日
...

...



国立国会図書館 タイトル『役者宝舟 3巻』 請求記号 856-43



ガラス使用

役者宝舟

藝求定

○京の目録



花と切と
撰りて
石橋所

そのの録
撰りて
祇園所

大入の
撰りて
大森所



国立国会図書館 タイトル『役者宝舟 3巻』 請求記号 856-43

ガラス使用

上主 中山まゆ 山

上音 法庵圓常 山

上音 菅川八尾 山

上音 三神大常 山

上上 尾上彩七 山

上 萬次常 山

上 法村圓常 山
上音 萬吉三常 山

上上音 法庵工方 山

奥山の風がうらうら 山

上音 大谷安太郎 山

上 漢尾圓常 山

上 中村元常 山

上 菅川路丸常 山

上 法庵交常 山

上 嵐半九常 山

上 嵐半八 山

上 嵐七五六八 山

上 嵐六五 山

▲実話集 諸段 山

▲実話集 山

嵐のはやうとせつな 山

上 正掛大房 小正 嵐門次 有
上 中村和房 小正 嵐清房 有
上 中村門次 小正 嵐清房 有
上 正次村と希 小正 中村平次 有
上 中村文五郎 有

▲老幼と部
びんづろのあまを孫で つま目

上 考ね次第三 有

上 魚の胸の丈さうさうの 有
今村七之郎 有

上 ありあんとていらしにあきん 掛目
と保身者たう 有

上 漢尾のちう 有
ととせうまかゝこのちうひ目

上 ▲預ねと部
江戸坂正房 有

上 かんろうちう 有

上 漢尾のちう 有

つらつらに乃れ役と せり目
▲若女初と部

上 大上吉 芳次いろは 有

上 上吉 若川友老 有

上 上吉 松本お三 有

上 上吉 中山一徳 有

上 上吉 村張子 有

上 上吉 中村桑若 有

上 上吉 中村金若 有

上 上吉 山下と塔雲 有

上上 山下秀次郎 小目

上上 坂東小幡次郎 小目

上上 後川信宗 小目

上上 嵐熊之助 小目

上上 行忌三吉 小目

上上 中村徳三郎 小目

上上 山下徳三郎 小目

上上 山下清次郎 小目

上上 澤村國太郎 小目

上上 女形一ツツのり 小目

上上 山下八百蔵 小目

上上 浪いてせ勤あつべ大さる合目

上上 美濃新三郎

上上 浪村田之助 小目

上上 所因三吉 小目

上上 吾妻富太郎 小目

上上 嵐三吉 小目

上上 嵐三吉 小目



大坂乃級壺三品長敷若目録

後重のり 客居三幅對

梅 松 椽 坂東宣長 竹田
婦川朝臣 角丸
中山文長 大西

▲ 至産三幅對

極上吉 泉川權亮 竹田
貞上吉 嵐島 市 竹田
加吉 山下京太郎 大西

▲ 立役之部

大上吉 石村友成 大西
上上吉 谷村權八 大西
上上吉 嵐人全亮 角丸
上上吉 松浦屋兵衛 角丸
上上吉 最川音吉 大西
上上吉 山下相徳 竹田
上上吉 婦川紹吉 角丸
上上吉 中山久吉 角丸

上上吉

上上吉

上上吉

上上吉

上上吉

上上吉

上上吉

▲ 實顔之部

上上吉 石村松太郎 竹田
上上吉 水本吉三 角丸
上上吉 行屋國次 大西
上上吉 最川清九郎 角丸
上上吉 萩野伊兵衛 大西

▲ 實顔之部

上上吉 中村友三 竹田
上上吉 沢村團次 角丸
▲ 立役之部

上上吉 仲村参彦 大西
仲村の辰子 竹田

上上 中村市重 辰本
中山 西雲 辰本

上上 中村市重 辰本
中山 西雲 辰本

大上吉 仲村伴茂 辰本
その中の辰子 辰本

大坂天満天神 辰本 細工人 辰本 辰本
辰本 辰本 辰本 辰本

上上吉 嵐門三郎
中村市重
辰本 辰本 辰本

上上吉 辰本 辰本 辰本
辰本 辰本 辰本

上上吉 辰本 辰本 辰本
辰本 辰本 辰本

上上 辰本 辰本 辰本
辰本 辰本 辰本

上上吉 市川辰本
辰本 辰本 辰本

上上 芳辰八郎
中山辰本
辰本 辰本 辰本

上上 松辰辰本
辰本 辰本 辰本

上上 荒本辰本
芳辰辰本
辰本 辰本 辰本

上上 中村辰本
辰本 辰本 辰本

大坂の信辰辰本
辰本 辰本 辰本

辰本 辰本 辰本
辰本 辰本 辰本



八
[印]

[印]

上
[印]

八

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

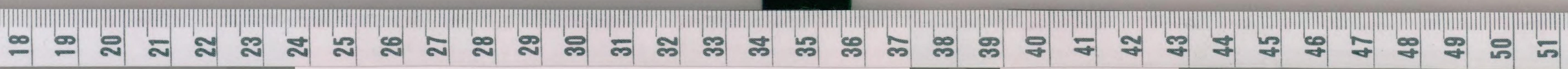
[印]

[印]

[印]

[印]

[印]

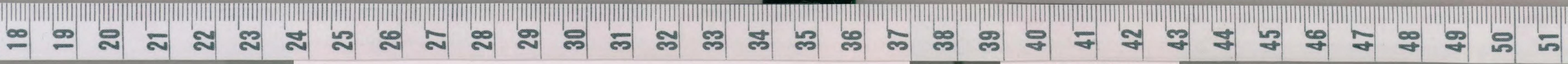


国立国会図書館 タイトル『役者宝舟 3巻』 請求記号 856-43

ガラス使用

上ノ末ノ端ノにハヤキノノ今ノ井ノ邊ノの表ノもノ井ノ邊ノに
[時] 被レ切レりノ中ノとハ其ノ二ノ段ノ者ノ油ノの段
別ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
てハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
くハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
ぬハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
うハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
道ノの段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
南ノ東ノの段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
井ノ邊ノ出レてハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
岸ノとハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
とハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
板ノとハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
出レてハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
中ノにハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら

井ノ邊ノ出レてハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
岸ノとハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
とハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
板ノとハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
出レてハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら
中ノにハ其ノ段ノ者ノの油ノの段ノは三ノ七ノ待レ合ノ人ノ船ノとハしレら

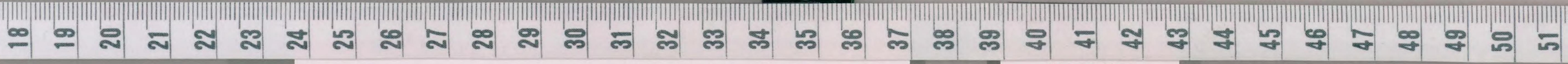




三橋太夫
 けせの花袋中
 全巻十三冊
 編



中山安五郎
 三巻
 編

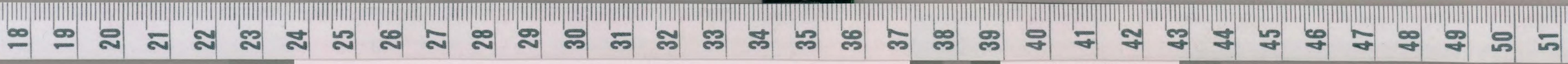


国立国会図書館 タイトル『役者宝舟 3巻』 請求記号 856-43

ガラス使用

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is arranged in approximately 20 horizontal lines across the page. Several characters are enclosed in small rectangular boxes, possibly indicating specific characters or words of interest. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is arranged in approximately 20 horizontal lines. Several characters are enclosed in small rectangular boxes. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.



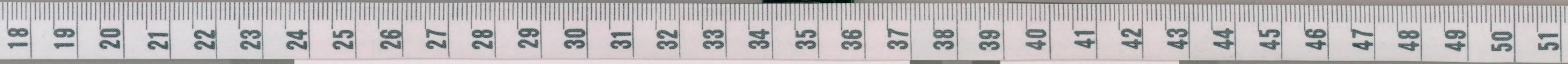
856
43

150

1774

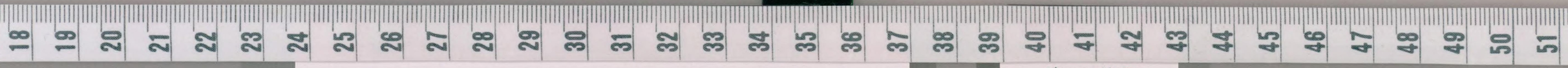
寛政十三年閏二月廿
心學院賦獅日詠信出嵐雅曲
各名
寺ハ深川澤也古

嵐雅曲の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に
出詠信の通名は心學院に



役者宝舟

京下
後



国立国会図書館 タイトル『役者宝舟 3巻』 請求記号 856-43

ガラス使用